「阪神5大学サステナブルがん人材養成プラン」
第７回プロジェクト運営推進委員会　議事要旨

日時　：　令和８年６月25日（木）17時30分　～　18時30分
場所　：　Zoom　オンライン　（会議主管　：　近畿大学理工学部）
出席者（敬称略）：

大阪公立大学　医学部	澁谷、藤田
大阪公立大学大学院看護学研究科	徳岡、田中
神戸大学大学院医学系研究科　楠キャンパス	采野、金原、宮脇、酒井、中塚、糸井、中邊
神戸大学大学院医学系研究科　名谷キャンパス	副島、山田
関西医科大学　医学部	伊藤、清水（俊）、加藤
兵庫医科大学　医学部	木島、狩谷、朝比奈
近畿大学　医学部	林、松尾、門前、高濱、谷﨑、猪川、小森、大松、森口、宮口、清水（則）、西上、辻井、土井、河村、中松
近畿大学　情報学部	半田、宮内
近畿大学　理工学部	西郷、川下、仲間、仁木、山本

以上　43名

委員会の開始に際して、西郷先生から挨拶があった。

1. 阪神５大学拠点校報告（近畿大学医学部　林秀敏先生）【資料1】
林先生から資料に基づき以下の報告があった。
＜中間報告について＞
・第４期６年のうち３年が経過し、過去の経験から中間報告を行う必要があると予想される。第３期の経験をもとに、今後予想される流れと提出物について説明があった。
＜令和７年度第３回活動成果評価委員会について＞
・３月６日に活動成果評価委員会を実施し、外部評価委員７名のうち６名が参加した。
・入学実績などの報告内容を説明。
・当日に委員会からの評価をTFごとに説明。大学院コース、TF3 の入学者数が課題として指摘された。SP演習やCS演習、ImNET5、TF2のがん予防の分野の取り組みは高評価であった。TF3の入学者が少ないと指摘をうけた件については、TF3を統括する神戸大学医学部大学院の入学者実績が計画に対して少ないことが目立ったと考えられる。他大学も医学部の医師の入学者数を改善する必要がある。
・後日届いた外部評価コメントについて説明。
・最終評価とコメントについて説明。松浦先生のTF3評価が特に低く、中間報告に向けた改善点を指摘された。森本先生からは資料送付時期について指摘があり、各大学の期限内の資料提出

にもご協力いただきたい。

＜がん研究シンポジウム＞

・2 月 7 日にオービックホールで開催し、162 名が参加した。阪神 5 大学のみならず広域からの大学院生が参加し、阪大拠点との合同企画も実施した。令和 8 年度は令和 9 年 2 月 13 日に開催予定で、現在演題募集中である。

2. 各 TF 報告【資料 2-1～2-3】

各 TF の取り組み状況について、担当校から資料に基づき以下の通り報告があった。

＜TF1　医療現場＞（近畿大学医学部　高濱先生）

・TF1 正規コースとインテンシブコースの入学者数について説明。正規コースは、在籍者数が 0 のコースもあり、6 年間の目標を考慮するとより一層のリクルートが求められる。

・今年度の予定として、imNET5 の取り組み、緩和ケア領域のセミナー、放射線治療の研修会、がんゲノムハンズオンセミナーを企画している。

＜TF2　予防医療＞（近畿大学情報学部　半田先生）

・今年度の各大学の TF2 スケジュールを説明。TF2 全体としては、がん予防医療国際シンポジウム、医療ビッグデータを用いたワークショップ、次世代のがんプロフェッショナル養成セミナーを開催予定である。

＜TF3　研究開発＞（神戸大学医学部　金原先生）

・令和 7 年度の活動実績を説明。正規コースの入学者・在籍者確保が課題である。

・今年度の開催予定のレクチャー、セミナーを説明。

・TF3 の課題である成果物の乏しさに対する改善策について、令和 8 年度 TF3 委員会で共有し、既存データをもとにした共同研究の計画・立案をスタートすることを確認した。

3. 各大学・学部の活動状況について【資料 3-1～3-9】

各大学・学部の取り組み状況について、資料に基づき以下の通り報告があった。

＜近畿大学医学部＞（高濱先生）

・学部におけるがんプロの体制は資料の通りである。毎週水曜日に 1 時間ほど定例ミーティングを実施している。

・今年度の入学者数は大学院コース 7 名、インテンシブコース 1 名である。

・主幹校としての企画、各 TF での企画進捗を報告。

＜近畿大学理工学部＞（西郷先生）

・今年度の入学者は大学院コース 3 名、インテンシブコース 12 名である。

・今年度は全 4 回の特別セミナーを開催予定。

＜近畿大学情報学部＞（半田先生）
・近畿大学医学部のインテンシブコースに組み込む形で、がんプロ学生に認定する予定。
・第 2 回がんとＡＩセミナーを開催予定。

＜大阪公立大学医学部＞（澁谷先生）
・令和 8 年度の大学院入学者は 3 名である。
・今年度は MedCity21 医学講座を 5 回で配信予定。
・今年度開催予定の講演会を説明。

＜大阪公立大学看護学部＞（徳岡先生）
・正規コースの入学者目標は毎年 2 名ずつで、令和 8 年度 2 名が入学した。
・インテンシブコースの受け入れ目標は各コース 2 名ずつで、インテンシブ A は 2 名、インテンシブ B は 3 名が受講中。
・10 月 17 日にがん看護講演会を開催予定。がん看護専門看護師と家族支援専門看護師にご講演いただく予定。

＜神戸大学医学部＞（釆野先生）
・学部におけるがんプロ組織図を説明。昨年度から若干の人員の異動はあるが大まかな体制に変更はない。
・インテンシブコースの受講者数は多いが、正規コースの入学者数は少ないためリクルートに力を入れたい。
・関西がんのリハビリテーション研究会（9 月開催）など今後の実施予定セミナーを説明。

林先生より、腫瘍内科の先生方でがんプロの取り纏めをされていると思うが、そこから大学院コースがある各診療科への情報共有（特に入学者数の課題について）をどのようにされているか質問があった。毎月の会議で学生の状況を情報共有しており、危機感をもって改善していきたいと回答。

＜神戸大学医学部保健学科＞（副島先生）
・がんプロフェッショナル（がん看護）養成コースの今年度受講者は 0 名で、来年度は 1 名の予定がある。
・がんサバイバーシップに関する医療者向けセミナーをオンラインで開催予定。

＜関西医科大学医学部＞（伊藤先生、清水先生）
・今年度の入学者は地域がん医療課題克服型腫瘍学のコースに 2 名で、内訳は呼吸器腫瘍内科の医師 1 名と小児科の医師 1 名である。在学者は 15 名だがコースにより偏りがあるため、次年度に向けがんプロ学生の確保を進める。
・今年度開催のセミナーを説明。

・新薬開発科の活動実績・業績を説明。第 1 回 KMU がん新薬開発国際シンポジウムを 1 月 15 日に開催予定。

林先生より、国際シンポジウムについてがんプロも後援として協力したいと意見があった。近畿大学医学部長の西尾先生も基調講演の演者として参加予定であり、ぜひがんプロ全体でご支援いただきたいと回答。

＜兵庫医科大学医学部＞（木島先生）
・がん免疫療法・ゲノム医療の実践・応用・新規開発のできるプロフェッショナルな多職種医療人および研究者養成コースに 5 名入学した。他の大学院コースの入学者が少ないのは課題。
・免疫関連有害事象ミーティングなど、今年度のセミナー開催予定を説明。

＜最後に＞
林先生より、活動成果評価委員会について報告したとおり、大学院コースの入学者数に課題があるため、現時点から各大学、各部署に周知をお願いしたい。文科省から事業仕分けの対象であると報告があり、来年度以降の予算確保のためにも一人でも多くの入学者実績が必要なのでご協力いただきたい、とコメントがあった。

高濱先生より、活動成果評価委員会のフィードバックにおける、各 TF に対する質問事項について各主幹校に返答を依頼予定なので、各 TF で検討をお願いする、とコメントがあった。

4. その他
＜次回、第 8 回プロジェクト運営推進委員会＞
・近畿大学医学部が主幹校。

以上